太田東西かわら版　２０１１．１１

「おかげ」を知る

この原稿を書いている今、妻が実家に帰ってしまいました…。

太田東西も“外面（そとづら）良しの内弁慶（うちべんけい）夫”だったのか！

“ＤＶ漢方薬剤師”だったのか！

真相を知りたい方は妻に直接訊いていただくとして、上の写真は
『キャベツたっぷりヘルシーメンチカツ』。
材料の買い物から揚げまで、試行錯誤、一人で頑張って作りました。

ちょうど長男も帰省していたので、息子２人に振舞いました。
「おいしい、おいしい♪」と食べてくれるのはうれしいですが、
作る立場は買い物含めて２時間、食べるほうは数分…。

夫である太田東西、妻の里帰りで、その有難さを改めて実感しました。
洗濯、掃除、買い物、そしてなんと言っても料理。
メンチカツを作った晩、ヒシヒシ感じたのです。
“ああ～料理とは、かくも手間のかかることなのか！”
“妻の「おかげ」で、仕事に集中できるんだ！”と。

『当たり前』思考家族は危ない！

５０代女性のお客様がこんなことをおっしゃっていました。

「身体が不自由な姑を入院させているんですが、主人が言うのです。
なぜ家に引き取って面倒をみてあげない！と。
病院の先生から、ご主人それは無理ですよ、自宅介護は厳しいですよと
言われたのですが、夫は不服そうでした。
それで先生が、３日間お義母さんを外泊させてみましょう、介護を実際に
ご主人に体験してもらいましょうと提案してくださいました。
１日目は私がつきました。夜は２時間おきに起こされました。
そして後２日は夫についてもらう予定でしたが、１日で音を上げて、自宅
介護は無理だ…と納得してくれました」

“ 嫁ぎ先の親の面倒を、嫁が看るのは当たり前！ ”

戦後６６年、核家族化が進んでも、こうした考えは依然残っています。
もちろん、健康な子供世代が病気の親世代を看るシステムは理想です。
子が老いた親の面倒を看る、それを幼少から見てきた孫は、その親の面倒を
自然と看るようになるでしょう（たぶん）。

しかし、こちらのご主人の問題点は
自分は仕事が忙しいんだからと自分の事は棚に上げ、妻に「おい、お前なら
できるだろう！」と、一方的に強要していることです。
いや、ご本人、強要と思っていない。
「当たり前！」と思っているんです、きっと。

こちらの奥様は、「うつ」「高血圧」で漢方相談にみえられました。
学問的にはその根本原因は「更年期障害」となりますが、僭越ではありますが
そのまた根本原因は「夫の言動」ということになります。

奥様は４人の子供と義父のお世話をしながら仕事もしています。
しかし、こちらのご主人、

妻の「おかげ」で、自分は仕事ができるんだ！

そこに気がついていらっしゃいません…。

『おかげさま』思考家族は幸せになる！

先のご主人の名誉のために言うと、何も妻を「奴隷扱い」にしたいと思っての言動じゃないんです。もともとは優しい男性のはず。
ご主人の母親を引き取りたいという想いは、幼少の時から「かわいそうな母」を見て来ているからだと思われます。父親が母親に対して「当たり前思考」で蔑（さげす）んできた記憶がご主人の中にあるのでしょう。

命令口調で独善的な父。それに懸命に忍従して耐える母…。
ご主人は長男として、その中で育った。
「母親を何とかしてあげたい！」という思いやりは立派なのですが、自らも父親と似た言動を妻に与えていることに気づいてほしいところです。
「男尊女卑の連鎖」が家系で行われていることに。

多くの人は、相手の立場になってはじめて、その相手の大変さに気づきます。
家族が病気に倒れてから、家族を失ってからはじめて、相手の大変さ、有難さ大切さに気づくようです。

ならば**病気というのは、相手の「おかげ」に気づかせるために用意されている**現象なのかもしれません。

「おかげさまで」「ありがとうございます」

その言葉が自然に出る謙虚な人は、病気の回復も早いことは医療従事者なら周知の事実です。臨終の際の表情も穏やかです。

だから…
家族みんなが健康な時から、お互いの「おかげ」に気づいて恥ずかしがらずに感謝の言動を心がけたいものですね。

では、率先して…
“ 麻里さ～ん、今の太田東西があるのはあなたのおかげです。ありがとう！ ”

そして…
太田東西のお客様の「おかげ」で今があります。ありがとうございます。

太田東西ブログ　　<１０月度アクセス数１位記事>

献品に感謝します！　10月3日

当薬局が長崎ダルク（薬物依存リハビリ施設）を応援していることをＨＰに掲げておりますが、http://www.ohta-tozai.com/pdf/henjinyakuzaishiatsumare.pdf
ありがたいことに、「ダルクで使ってください！」と献品してくださるお客様が増えてまいりました（泣）。
ほんとうにありがとうございます。

先週は、
新品のたくさんのタオルを持参していただき…
日用品から飲み物まで。

飲み物は
「太田塾の生徒さんにも！」 だなんて、感謝感激です。

早速、先週の太田塾で
（ボランティアでやっている落ちこぼれリハビリ塾）
しっかり生徒にお酌させていただきました。
「う、う、うまいっす！」
と泣いておりました（笑）。

そして、紙袋のジュースの下を見ると、なんと
だ、だ、だ、大好物の飲み物が！
太田東西にまで「献品」していただいて……（大泣）

週末、

「う、う、うまいっす！」

と妻と泣いていただきました。　m（u u）m